

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	地域医療に関わるマーケティング問題の研究				
研究組織	代表者	所属・職名	経営情報学部・教授	氏名	岩崎 邦彦
	研究分担者	所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	経営情報学部・教授	氏名	岩崎 邦彦

講演題目
どうすれば選ばれる医療機関になることができるのか：生活者の視点から医療機関をみて

研究の目的、成果及び今後の展望

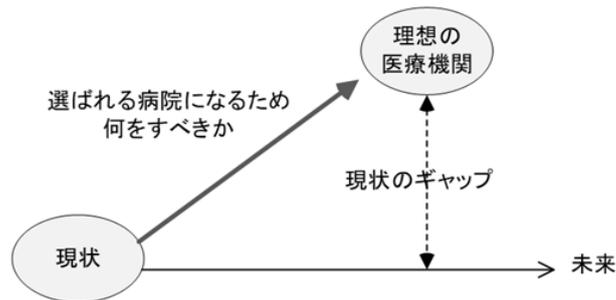
1. 研究の目的

「医療なき地域はありえない」「地域とのつながりなくしては、病院は成り立たない」「病院がなくなれば、この地域に住むなどということと同じ」。これらは医師、地域住民の言葉である。「人々の健康」も「地域の健康」も、地域の医療機関なしには考えられない。

本研究は、生活者目線・患者目線・地域目線で、これからの時代の地域医療機関のマーケティングの方向性を提示し、地域社会に貢献することを目的として実施した。

2. 成果及び今後の展望

本研究では、全国の生活者、医療関係者への定量調査・定性調査を行い、医療機関の現状と生活者が求める理想の姿とのギャップを明らかにし、患者に選ばれる医療機関になるための方向性を検討した（図参照）。



分析の結果、生活者が地域の医療機関に求める本質的価値は、「不安解消」にあることが示唆された。つまり、医療機関が「不安解消業」として、自らを再定義できるか否かが、地域の生活者に選ばれる医療機関になるカギになる。本研究では、そのための具体的な方向性を検討、提案した。

患者やその家族が医療機関において体験する全ての場面において、「どうしたら一人一人の不安を解消できるか」を考え、形にして、実行に移していくことが、選ばれる医療機関の条件になる。生活者の心を引きつけるためには、「なおす病院」から「いやす病院」へ発想の転換が必要になるだろう。